船舶事故等調査報告書

平成２５年１２月１９日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	２０１３広第１１９号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成２４年１２月６日　２１時００分ごろ
発生場所	広島県呉市呉港川原石（かわらいし）南ふ頭 呉市所在の小麗女（こうるめ）島灯台から真方位０８７°　１．２海里付近 （概位　北緯３４°　１４．５′　東経１３２°　３２．６′）
事故等調査の経過	平成２５年７月９日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	 貨物船　金生（きんせい）丸、１９９トン １３５３０２、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、六級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船　右舷船首部に凹損 岸壁　なし
事故等の経過	本船は、船長ほか２人が乗り組み、鋼材約６００ｔを積載し、船首約２．８０ｍ、船尾約３．２０ｍの喫水で呉港の川原石南ふ頭に着岸作業中、平成２４年１２月６日２１時００分ごろ、付近を航行する船舶の航走波及び風波に圧流され、右舷船首部が岸壁に衝突した。
気象・海象	気象：天気　曇り、風向　南東、風力　３、視界　良好 海象：潮汐　低潮時、潮高　約１２１㎝
その他の事項	船長は、何回も呉港川原石南ふ頭への着岸経験があった。 船長は、本事故当時、着岸作業中に思ったよりも船首が右に振れたと感じた。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	 あり なし あり 本船は、呉港の川原石南ふ頭に着岸作業中、付近を航行する船舶の航走波及び風波に圧流されたことから、右舷船首部が岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、呉港の川原石南ふ頭に着岸作業中、付近を航行する船舶の航走波及び風波に圧流されたため、右舷船首部が岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。

	・着岸作業を行う場合、付近を航行する船舶の航走波などにも注意すること。